

事務所通信 パクチー

2026年2月号

税理士法人PLUS1

〒542-0081
大阪市中央区南船場 1-16-10 大阪岡本ビル5階
電話：06-6264-6135 FAX：06-6264-6136



大人にも大人気の国民的アニメ『名探偵コナン』は今年で放送30周年。人気の秘訣は、本格的な推理と魅力的な登場人物、そして時代に合わせたトリックの進化でしょう。30年の歴史の中でケータイやインターネットなどの社会変化を取り込んでミステリーを深めてきたコナン。彼の持続力と洞察力を学びたいですね。

知っとこ！「税」のマメ知識

今月のマメ知識：【申告所得金額が初の100兆円超え】

国税庁は、2024年度に決算を迎えた企業の申告所得金額が102兆3381億円に達し、統計開始以来初めて100兆円を突破したと発表しました。業種別では、製造業と運送業が減少した一方、サービス業や建設業を中心とした業種で所得が増加しました。特に料理・旅館・飲食店業は、前年度比38.5%増の1兆3326億円となり、インバウンド需要の回復が寄与したとみられています。

2024年度の申告税額は18兆7139億円となり、バブル期の1989年度（18兆6412億円）を上回り過去最高を更新。法人全体を見れば、その数346万法人、申告件数322万件。黒字申告の割合は36.5%で、1件当たりの平均所得金額はここ10年で最高の8707万円となりました。反面、給与所得等に係る税額の減少や、定額減税の影響からか、源泉所得税などの税額は20兆3445億円となり、前年より9907億円ほど減少しました。今後は、賃上げ動向や物価上昇、インバウンド需要などが企業収益に影響を及ぼすと考えられています。

金・仮想通貨・上場株式－税金の扱いはここが違います

佐藤です。物価上昇や円安の影響もあり、金・仮想通貨・上場株式へ投資されている方も多いと思います。今回はこれらの金融資産を売却した場合の税金の取扱いについてまとめました。

① 金（地金など）を売却した場合

一般的には譲渡所得として扱われます。譲渡所得には、保有期間に応じた区分があり、一定の条件では長期保有（5年超）で税負担が軽くなる仕組み（課税対象が1/2になる）が適用される場合があります。

② 仮想通貨を売却した場合

仮想通貨（暗号資産）の売却益や交換による利益は、原則として雑所得に区分されます。雑所得は総合課税のため、給与や事業所得などと合算され、所得が大きいほど税率も高くなる仕組みです。ただ、令和8年度税制改正大綱より、今後は株式と同様に申告分離課税が適用される予定です。（時期未定）

③ 上場株式の配当や売却益

原則として申告分離課税として20.315%の税金（所得税・住民税）が差し引かれて、完結します。このように金融資産の種類によって税金の取扱いも異なります。昨年（2025年）中に金や仮想通貨を売却された方は確定申告の必要があるかどうか一度ご確認ください。ご不明な点は担当者までお気軽にご質問ください！

今月の いろいろ 「掲示板」

★新人紹介★

はじめまして。2026年1月に入社いたしました、山下倫明（のあ）と申します。

高校では商業科に在籍し、簿記の学習はこの頃から始めました。学生時代は卓球部に所属し、部活動にも力を入れて取り組んでまいりました。その後、2025年8月まで約2年半にわたり大原学園に通い、簿記論、財務諸表論に合格しました。

現在はまだ勉強中の身ではありますが、一日でも早く業務に貢献できるよう、知識と経験の習得に励んでおります。

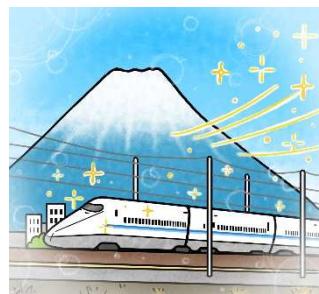
どうぞ、よろしくお願ひいたします。



振り向けば あそこにも 商売のヒント ここにも

今月の商売のヒント：【希望は光より速く】

経営者にとって新幹線は単なる移動手段ではありません。流れる車窓を眺めながら一人静かに戦略を考える、大切な思索の時間でもあります。ところで、東海道新幹線の「こだま」「ひかり」「のぞみ」の名前の並びは速度の順だけでなく、そこには深い意味が隠されているのをご存じでしょうか。まず「こだま」の由来は「木霊（山彦）」であり「音速」を表しています。次に登場したのが「ひかり」です。AINSHUTAINの相対性理論によれば、光の速さは音速よりはるかに速く、物理学の世界では光が絶対的な速さの頂点に立っています。しかし、その「ひかり」よりもさらに速い列車として名付けられたのが「のぞみ」でした。「のぞみ」とは、人の「願い」や「希望」です。物理的な物質は光の速さを超えることはできませんが、人の思いや希望は時間も距離も一瞬で飛び越え、目的地へと到達できるのです。「音（こだま）」より速い「光（ひかり）」。そして、絶対的な物理の法則さえも超えるのが「希望（のぞみ）」です。この命名には、技術への誇りだけでなく、人の意志への深い敬意が込められているように感じます。商売も同じではないでしょうか。論理的な分析や市場データという「光」のような正確さは、もちろんとても大切です。けれど、誰も見たことのない未来を切り拓き、困難な壁を突破する力は、理屈を超えた「こうありたい！」という強い願いから生まれるものだと思います。希望は商売をする上での大きな原動力ですが、また商売を通じて人々に希望を届けたいという思いも、同じくらい大事にしていきたいと思うこの頃です。



李です。以前にも富山の「ますの寿司」をご紹介した事がありますが、その姉妹品「ぶりの寿司」をご存じでしょうか。鯛は脂っこいからあまり好きではない、という女性も多いかと思います。この寒い時期日本海の寒鯛は大人気。富山では氷見の寒鯛が特に有名です。近年韓国でも日本産の鯛が大人気、高級魚だそうです。鯛はその成長過程で呼び名が変わる出世魚でアジ科の魚ですから白身とは別物です。個人的には寒鯛のお刺身はワサビ醤油より韓国チヨ（酢）コチュジャンで食べるのが好きです。「ぶりの寿司」は「ます」以上に脂が乗っている為か、鯛の上に蕪、人参、昆布のお漬物が乗っています。お漬物の効果なのか、比較的さっぱりした風味に仕上がっています。賞味期限は購入日より2日以内と表記されていますが、購入して直ぐに食べるより、一日ほど室温で追熟した状態の方が更に美味しいです。翌日の昼がピークでそれ以降は風味が落ちる感じがしました。富山へ行かれた際、是非「ぶり寿司」いかがですか？😊